



わたしたちの 日本一 美しい村

2014

広報

しらかわ

5月号
No.514

雪解けを経て、満開の桜と
鯉のぼりで、春満開！

長かった冬が終わりを告げ、白川村にも春が訪れました。
山菜が芽吹き、様々な野草の花や桜が咲き、気分も見た目も華やかな季節になりました。

CONTENTS

- 白川村文化財指定について…………… 2
- Road to 岐阜県消防大会…………… 4
- 地域おこし協力隊からのお知らせ …… 5
- カメラさんぽtopics…………… 10



◆◆◆ 白川村の文化財に指定 ◆◆◆

平成25年度の白川村文化財保護審議会を経て、教育委員会では、村の歴史を物語る物を守っていくため、新たに3件を村指定の文化財としました。そこで、今回はその3件についてご紹介させていただきます。

1. 小白川の積石塚群及び大ケヤキ (小白川63番地62)



この積石塚群は火葬骨を埋葬した墓地であり、景観は中世の絵巻物『餓鬼草紙』に描かれた墓地の風景を髣髴とさせる。また、中世の墓地遺跡から発掘されるいわゆる集積墓群に類するものであろう。白川村は浄土真宗の信仰により墓標（墓石）を造立しない「無墓制」であったが、それがこうした古い墓地の姿を残すに至った背景と思われる。

墓地の中の岩場にそそりたつ櫟の巨木は「お墓印（おはかじるし）」の意味をもっており、神や仏の降臨する目印あるいは抛り所ともなっている。沿革としての詳細は不明であるが、少なくとも江戸時代には遡るものである。

(早稲田大学 谷川章雄教授・東京大学 辻誠一郎教授 所見より抜粋)

2. 小白川口留番所跡 (小白川 字家廻 458番地1)

天正13年（1585）に金森長近は飛騨を平定し、31ヶ所の口留番所を設置した。越中西赤尾村に通じる白川街道の小白川には口留番所が設けられていた。

小白川の口留番所は独立した建物であり、農家の空き家となっていた納屋を仮番所に用いていたとされる。口留番所には高札場があり、切支丹禁制高札をはじめとして幕府や高山陣屋が出した法度などを書いた高札を掲示していた。口留役所の主な職務は、国境を出入りする物品から口役銀を徴収し、通行人を改めることであった。

(早稲田大学 谷川章雄先生 所見より抜粋)



3. 御母衣白山神社社叢 (御母衣 字氏神山 20番地)



御母衣白山神社は白川街道を見下ろす独立した小高い山全体が社叢となっており、その山頂部に社殿が建っている。社殿の傍らには複数の板石状の立石が認められる。立石の近辺からは、中世の遺物と想定される陶器片が採集されている。

社叢は岩石からなる急峻な単独峰にもかかわらず、土地的乾燥に適したカエデやシデの仲間以外にブナやトチノキの巨木も含まれており、典型的な冷温帯落葉広葉樹林を残している。急峻であることと神社の叢林であるために残りえたのであろう。低木にはシャクナゲ群落、ユキツバキ群落があり、日本海側の冷温帯植生の博物館のようである。頂部のコウヤマキは稀少な樹種であり、白山神社の神木ともなっている。

こうした御母衣白山神社の立地や景観は、信仰の対象としてふさわしく、社叢の植生も貴重なものである。

(早稲田大学 谷川章雄教授・東京大学 辻誠一郎教授 所見より抜粋)

白川村は萩町の合掌集落を中心に文化財を守ってきました。ですが白川村には指定されていない価値あるものがまだまだあります。そういった物が今のまま変わらず引き継がれていく事を願い、今後も教育委員会では、文化財の指定を続けていく方針です。

4月11日(金)に平成26年度白川村体育協会総会が行われ、事業報告と決算報告及び表彰伝達が行われました。

期 日	事 業 名	場 所	備 考
平成25年3月29日	平成24年度体育協会理事会	役場大会議室	平成24年度事業決算報告 平成25年度事業計画等
4月 8日	県体育協会加盟団体事務担当者会議	岐阜メモリアルセンター	平成25年度事業について
12日	平成24年度白川村体育協会総会	役場大会議室	平成24年度事業決算報告 平成25年度事業計画等
25日	野球部代表者会議	平瀬カルチャーセンター	リーグ戦について
26日	村野球リーグ戦開幕	中島グラウンド	大会開催
5月21日	飛騨地区体育協会総会	高山市	平成25年度事業等について
6月11日	平成25年度第1回県体協評議委員会	岐阜メモリアルセンター	平成24年度事業決算報告 平成25年度事業計画等
7月14日	第61回飛騨地区体育大会	飛騨地区内	4チーム出場 野球(一般・壮年)・ ゲートボール・バレーボール(シニア)
9月15日	岐阜県民スポーツ大会	岐阜メモリアルセンター	19日ゴルフ部参加
19日	岐阜県民スポーツ大会ゴルフ競技	富士カントリー可児クラブ	ゴルフ部
10月11日	飛騨地区体育協会事務局会議	ビッグアリーナ	飛騨・県スポーツ大会等
29日	飛騨地区体育協会役員会	高山市	飛騨地区大会結果報告等 理事長・事務局参加
11月14日	村民バドミントン大会	白川中学校体育館	11組(22名)参加
17日	飛騨駅伝競走大会	下呂市	陸上部出場
12月 9日	村民ソフトミニバレーボール大会	白川中学校体育館	10チーム(48名)参加
平成26年2月 6日	村民スキー大会打合せ	役場打合せデスク	大会計画について スキー部
15日	村民スキー大会準備	白弓スキー場	スキー部
16日	第48回村民スキー大会 第40回村議会議員杯スキー大会	白弓スキー場	54名(昨年度61名)
3月27日	第18回村民ゲートボール大会	ふれあい体育館	4チーム参加
4月 4日	平成25年度白川村体育協会理事会	大会議室	平成25年事業報告・決算報告及び 平成26年度事業計画・予算(案)について

*上記の活動以外に、地区で行われる体育的行事(運動会・レクリエーション)への援助をしました。

平成25年度収支決算書

〈収入の部〉

単位：円

区 分	決 算 額	備 考
村 補 助 金	800,000円	
協 力 金	446,000円	1,000円×446世帯数
雑 収 入	100,101円	貯金利息101円 県より加盟団体体育成費10万円
繰 越 金	101,507円	前年度分
計	1,447,608円	

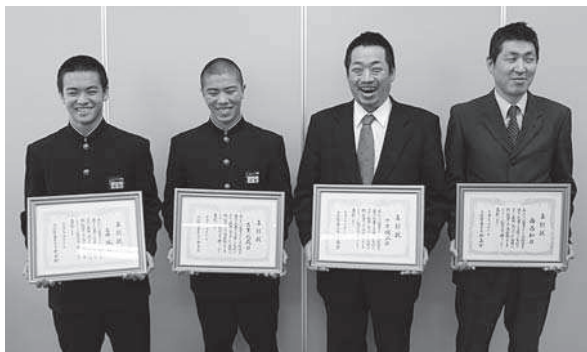
〈支出の部〉

単位：円

区 分	決 算 額	備 考
大 会 出 場 費	462,400円	飛騨・県大会参加費
	316,495円	※村大会開催経費 地区行事費
活 動 運 営 費	311,402円	※各部
総 務 費	43,047円	振込手数料 7,047円 消耗品 0円 会議諸費等 36,000円
	79,000円	飛騨・県体協負担金・会費
	15,000円	総会表彰時記念品等
予 備 費	0円	
計	1,227,344円	
繰 越 金	220,264円	

収入1,447,608円 - 支出1,227,344円 = 差引残高220,264円は平成26年度に繰り越します。

白川村体育協会表彰



バレー部監督 下方 健弘 柔道 古田 颯
バレー部監督 南 昌和 柔道 吉實 武蔵
スキー部 新谷ひな子

白川村のスポーツ振興に貢献した下方健弘さん・南昌和さんと、スキー大会で全国大会・東海大会出場を果たしたとして新谷ひな子さん、柔道の岐阜県強化選手選考会にて、優勝をされた古田颯さん・吉實武蔵さんに、村体育協会会長から表彰状が贈られました。

Road to 岐阜県消防大会

Vol. 1

「消防感謝祭」岐阜県消防操法大会が白川村で開催されます。

この消防操法大会は、消防団の消防技術の向上と士気の高揚を図ることにより、地域防災体制の強化に役立てることを目的として、昭和27年から開催されている伝統ある行事です。

岐阜県ではポンプ車操法と小型ポンプ操法を交互に実施する方法で毎年開催しています。今月号から、この大会開催にあたる準備の様子や防災減災に関する情報を毎月紙面で紹介していきます。

この大会を通じて、防災や減災の意識をみんなで一層高めましょう。



「消防感謝祭」第63回岐阜県消防操法大会 大会概要

- 日時：平成26年8月3日（日曜日）
- 会場：白川村防災グラウンド
- 住所：白川村大字鳩谷字寺尾664番地の13

大会の詳細スケジュールについては、
決まり次第お知らせします。

実行委員会の作業

昨年12月に村の関係機関で組織する大会実行委員会を設立しました。現在、実行委員会では、総務部会、競技部会、交通部会、食部会、アトラクション部会、消防発信部会の6つの部会で大会運営に係る協議を進めています。

会場整備の様子

4月13日（日）、メイン会場となる防災グラウンドを消防団全員で整備しました。重機等ご提供いただいた事業所に感謝申し上げます。



白川村代表選手 紹介



指揮者：田中 栄作 1番員：渡邊優一郎
2番員：松山 秀則 3番員：佐藤 謙
補助員：寺口 徹

村の代表選手や教育指導者は、それぞれ仕事のかたわら日夜訓練に励んでいます。

皆様、ご声援よろしく申し上げます！

白川村らしい工夫を凝らしたメニューで 岐阜県の消防団員を“おもてなし”

大会会場では、飲食物を露店販売するバザーコーナーが設営されます。

村内出展者や飛騨地域など、ご当地グルメイベントで出展されている業者も参加予定です。



練習風景



地域おこし協力隊の活動が始まっています!

白川村地域おこし協力隊が着任し、3か月が過ぎました。
 まだまだ村民の皆様にご挨拶ができておりませんが、これから毎月紙面をお借りして、協力隊の活動の様子をお伝えさせていただくことになりました。よろしくお祈いします。(文章:大倉 暁)

地域おこし協力隊の目的

白川村は、国内外から年間約150万人の観光客にお越しいただいておりますが、世界遺産・合掌造りに特化した観光体制による、来場数の減少や客単価の伸び悩み、人口減少・少子高齢化など、村を取り巻く問題は多様化・深刻化しています。白川村が単独村としてこれからも存続していくために、地域の活性化や情報発信・産業振興を目的とし、2014年1月より地域おこし協力隊の受け入れが開始しました。

現在進行中の内容

◆空き家オーナー様向け受付窓口設置と今後の活用策提案

現在、白川村には、村への移住を希望される方に村内の空き家情報(通称・空き家バンク)を閲覧頂けるような仕組みがありません。そのため、今後の白川村版空き家バンクの運用を目指し、空き家情報の受付窓口を設置しました。

募集中! 白川村の空き家情報をお待ちしています!

現在使用されていない住居や土地を村内にお持ちのオーナー様からのお問い合わせをお待ちしております!

(お問い合わせは、隊員柴原まで)

◆空き家活用の具体化

①村民カフェ ~村民交流の場の設置~

空き家を使い、毎週水曜日に“村民カフェ”として村民の方々と地域おこし協力隊との交流の場を設けています。



村民カフェの様子が中日新聞さんに取材されました。



②旅館再生

~コミュニティスペースや新しい観光客獲得施設へ~
 平瀬地区にて、村民の方がオーナーとなり取り壊し予定だった旧旅館を再利用して、ゲストハウスや観光客と村民が交流するなど多目的なスペースにする予定です。今年の夏にオープンを目指して準備を進めています。

今後の活動予定

- ・国内外に向けた、ソーシャルメディア上での情報発信 (5月中にスタート予定)
 Facebookなどソーシャルメディアで、白川村の観光情報から生活情報まで、より魅力的な情報発信をしていきます。皆様の元にも取材にうかがうことも多くなると思います。ご協力よろしくお願いします!
- ・移住希望者の相談窓口、空き家マッチング事業
- ・休耕田や遊休地を利用した農作物の作成における新規ビジネスの創出 など

地域おこし隊の活動はインターネットでも公開中!

- ☆地域おこし協力隊 隊員ブログ“白川村から、こんにちは”
<http://vill-shirakawa-heritage-mgr.blogspot.jp/>
- ☆ **facebook** Facebookページ 白川村地域おこし協力隊
<https://www.facebook.com/vill.shirakawa.heritage.mgr>



白川村地域おこし協力隊メンバー
 高橋 淳 大倉 暁 柴原 孝治

●問い合わせ・ご相談は 白川村役場 か 村民カフェ(毎週水曜日朝9時~17時開催)まで